

Title	プログラム
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学AI・ 高度プログラミングコンソーシアム
Publication year	2024
Jtitle	AICカンファレンス予稿集 (2024.) ,p.4- 4
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	会議名：AICカンファレンス2024 開催地：慶應義塾大学協生館AICラウンジ、および多目的教室 日時：2024年3月7日
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO11003001-20240307-0004

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

プログラム

開催日 2024 年 3 月 7 日

会場 慶應義塾大学 協生館 AIC ラウンジ、および多目的教室

タイムテーブル

12:30-13:00	受付開始
13:00-13:15	開会式 (AIC ラウンジ)
	開会宣言
	慶應義塾大学 AI・高度プログラミングコンソーシアム代表 矢向 高弘
	挨拶
	慶應義塾大学塾長 伊藤 公平
13:15-14:35	講演セッション 1 (AIC ラウンジ)
	マルチモーダル言語処理は世界をどう変えるのか? - 杉浦 孔明 (理工学部)
	知的創造とは何か ~生成 AI と知的財産法 - 君嶋 祐子 (法学部)
	生成 AI と新しいアカデミックインテグリティの創出 - 奥出 直人 (AIC)
	スパースな計測情報に基づく空間状態推定 ~機械学習の活用により, 魔法のような技術で未来を創れるか?~ - 五十川 麻理子 (理工学部)
14:55-16:15	講演セッション 2 (AIC ラウンジ)
	対話型 AI との関係性の構築と現実の認識 - 菅 さやか (文学部)
	日本としての次世代 AI 構築に向けて - 栗原 聡 (理工学部)
	生成 AI つかって私話してます: 人と人の相互理解に向けて - 今井 倫太 (理工学部)
	研究教育における生成 AI の活用 - 矢向 高弘 (システムデザイン・マネジメント研究科)
16:25-17:10	ポスターセッション (塾生による研究発表) (多目的教室)
	インクルーシブビジネスにおける Facebook の活用と課題—貧困層の推定と交流促進の可能性— 八木 真理奈 (経営管理研究科 修士 1 年)
	市街地での移動指示文に基づく目標領域予測 畑中 駿平 (理工学研究科 修士 2 年)
	モバイル空間データを用いたマルチエージェントシミュレーションでの COVID-19 感染伝播分析 加地 健 (理工学部 4 年)
	大規模言語モデルを用いたマルチモーダル検索モデルに基づく生活支援ロボットによる物体操作 是方 諒介 (理工学研究科 修士 1 年)
	マルチモーダル基盤モデルと混合緩和損失を用いた大規模屋内検索エンジン 今井 悠人 (理工学部 4 年)
	2D 正面イラストから 3D モデルを生成する研究 エン ネイキン (システムデザイン・マネジメント研究科 修士 1 年)
	Annealed Stein Variational Policy Gradient 高木 智也 (理工学部 4 年)
	産官学連携による AI を活用したキャリア教育プラットフォームの提案 早水 佑輔 (経営管理研究科 修士 1 年)
	RPA を用いた個票作成システム 田島 陽紀 (理工学研究科 修士 2 年)
	大規模言語モデルを用いた仮説生成に基づくクロスモーダル説明文生成 小松 拓実 (理工学研究科 修士 1 年)
17:15-19:00	懇親会 (AIC ラウンジ)